

# 行政事業レビューシートの見方について

事業番号

平成30年度行政事業レビューシート( )							
事業名				担当部署			
事業開始年度	事業終了 (予定)年度			担当課室			
会計区分							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等			
主要政策・施策				主要経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)							
事業概要 (5行程度以内、別添可)	<b>①基礎情報</b>						
実施方法							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
		補正予算					
		前年度から繰越し					
		翌年度へ繰越し					
		予備費等					
		計	0	0	0	0	0
	執行額						
	執行率(%)	-	-	-	-	-	
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	-	-	-	-	-		
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由			
	その他	0	0				
	計	0	0				

# 行政事業レビューシートの見方について

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度						
											成果実績					
											目標値					
											達成度	%				
根拠として用いた統計・データ名(出典)																
横断的な施策に係る 成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度						
	目標・指標										成果実績	円/t-CO2				
											目標値	円/t-CO2				
											達成度	%				
地球温暖化対策 関係	算出方法			分類	直接効果 うち、	成果実績	円/t-CO2									
						目標値	円/t-CO2									
						達成度	%									
						成果実績	円/t-CO2									
横断的な施策に係る 成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度						
											成果実績					
											目標値					
											達成度	%				
●● 関係																
算出方法																
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック																
定量的な目標 が設定できない 理由及び定量的な 成果目標	定量的な目標が設定できない理由					定量的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績										
	<b>②業績指標</b>															
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	事業の妥当性を 検証するための 代替的な達成 目標及び実績	代替目標		代替指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度					
												実績				
												目標値				
												達成度	%			
事業の妥当性を 検証するための 代替的な達成 目標及び実績	代替目標	代替指標				実績										
						目標値										
						達成度	%									
						実績										
事業の妥当性を 検証するための 代替的な達成 目標及び実績	代替目標	代替指標				目標値										
						達成度	%									
						実績										
						目標値										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込						
											活動実績					
											当初見込み					
											達成度	%				
単位当たり コスト	算出根拠				単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込							
									単位当たり コスト							
									計算式	/						

# 行政事業レビューシートの見方について

政策評価、 経済・財政再生ア クション・プログラムとの関係	政策											
	施策											
	測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標年度 年度			
			実績値									
			目標値									
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
					施策の進捗状況(実績)							
	<p style="text-align: center;"><b>③ 政策評価、</b>  <small>本事業の成果と上位施策(定指標)との関係</small>  <b>経済・財政アクション・プログラムとの関係</b></p>											
	改革項目 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	分野:										
KPI (第一階層)			単位	計画開始時 年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度				
		成果実績										
		目標値										
		達成度	%									
KPI (第二階層)			単位	計画開始時 年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度				
		成果実績										
		目標値										
		達成度	%									
<p style="text-align: center;">本事業の成果と改革項目・KPIとの関係</p>												

# 行政事業レビューシートの見方について

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		
外部有識者の所見			
⑤ 外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
⑥ 行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
⑦ 所見を踏まえた改善内容			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
平成26年度	平成27年度	平成28年度	
⑧ 補足情報			

# 行政事業レビューシートの見方について

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

## ⑨資金の流れについての フローチャート



# 行政事業レビューシートの見方について

前年度執行実績に基づいて、点検作業を行います（平成30年に実施するレビューは、平成29年度実績がベース）。

事業番号

平成30年度行政事業レビューシート ( )

事業名	事業開始年度		担当部局庁	作成責任者			
	事業終了 (予定)年度		担当課室				
会計区分							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等				
主要政策・施策			主要経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)							
事業概要 (5行程度以内、別添可)							
実施方法							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
		補正予算					
		前年度から繰越し 翌年度へ繰越し					
		予備費等					
		計	0	0	0	0	0
		執行額					
		執行率(%)	-	-	-	-	-
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	-	-	-	-	-		
歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由				
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)							
	その他	0	0				
	計	0	0				

● 何十年も前に開始された事業の場合、時代に即した事業内容になっているか？  
● 時代の変化や環境の変化を見据えて、事業の終期設定を行い、事業計画等の見直しを行うべきではないか？

政府が進めるどのような政策・施策に該当するのか（例：地方創生、観光立国、ODAなど）？

目的は妥当か？  
そもそも税金(借金)を投入して実施する意義のある事業か？

執行率が低い場合、その理由をきちんと把握しているか？

各費目毎の予算額増減を見ると、事業予算の中でもどの部分を削減したのかがわかります。

担当部局名・担当者名を明記することで、事業に対する説明責任を明確にします。

目的に即した事業内容・手段になっているか？

他の類似の助成制度と補助率や支援対象などの面でバランスをとる必要があるのではないか？

シートの最終公表時には、次年度予算要求額が記載されます。点検内容が予算要求にどのように反映されたかがわかります。

前年度の執行実績に基づいた予算額になっているか？



# 行政事業レビューシートの見方について

この事業を実施することでどのような定量的な成果が生み出され、どのように国民の利益となるかが分かります。

記載された成果指標は真に国民の利益となるものか？

成果目標が統計等の数値的根拠に基づき設定されているか？

同一の横断的指標が設定されている事業間における定量的成果の比較が可能となります。

目標値に対する各年度の達成度は十分か？  
不十分な場合、点検結果において、その理由などの問題把握をしているか？

事業の目標最終年度が10年以上先である事業について、事業成果を図る目印として国民にわかりやすい、実現可能な目標が設定されているか？

定量的な成果目標を示すことができない場合に限って記載する。事業の成果を数値で表せずとも、国民の十分な理解を得られるものとなっているか？

活動実績の見込みは適切か？見込みに対して活動実績が達成されているか？達成されていない場合、点検結果において、その理由などの問題把握をしているか？

事業効果に対してコストが過大となっていないか。

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	分類	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
	成果実績								
目標値									
達成度				%					
指標として用いた統計・データ名 (出典)									
横断的な施策に係る成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	分類	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
	目標・指標								
算出方法									
地球温暖化対策関係	定量的な成果目標	成果指標	分類	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
	目標・指標								
算出方法									
横断的な施策に係る成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	分類	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
	目標・指標								
算出方法									
●● 関係									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									
チェック									
定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26~28年度の達成状況・実績					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	分類	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
実績									
目標値									
達成度				%					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	分類	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
実績									
目標値									
達成度				%					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	分類	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
実績									
目標値									
達成度				%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	31年度活動見込
活動実績									
当初見込み									
単位当たりコスト	算出根拠			単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
算出根拠									
単位当たりコスト									
計算式				/					



# 行政事業レビューシートの見方について

政策評価体系の政策名等が記載されます。

レビューと政策評価との連携を確保するため、政策評価における当該事業に関連する測定指標の達成状況を記載します。

本事業の成果が上位施策の達成すべき目標の達成または推移にどのように寄与するのかがわかります。

レビューと経済・財政一体改革の連携を確保するため、「経済・財政アクション・プログラム2016」（平成28年12月21日経済財政諮問会議決定）に挙げられた改革項目や対応するKPIのうち、本事業に関連する主要なものを記載することで、KPIの達成状況がわかります。

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策											
		施策											
		測定制標	定量的指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度				
				実績値									
				目標値									
		測定制標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
				施策の進捗状況(実績)									
				本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
		経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	アクション・プログラム	改革項目	分野:								
				KPI (第一階層)	KPI	単位	計画開始時年度	29年度	30年度	中間目標年度	目標最終年度		
成果実績													
目標値													
KPI (第二階層)	KPI			達成度	%								
				KPI (第二階層)	KPI	単位	計画開始時年度	29年度	30年度	中間目標年度	目標最終年度		
						成果実績							
目標値													
KPI (第二階層)	KPI			達成度	%								
				本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									

# 行政事業レビューシートの見方について

事業を直接実施している担当部局による点検項目。各担当者が、事業の点検を行うべく、これらの項目についてどのような評価をしているかが分かります。

受益者負担の観点から、地方自治体等の費用負担のあり方を改めて検証すべきではないか？

事業目的に即した成果目標の達成に向け、事業が適切な手段で実施され、見込みに見合った実績が出ているか。また、その実績は有効に活用されているか。

類似事業や共管事業を所管する部局・府省において、当該部局間・府省間の役割分担が適切になされ、類似事業等の重複排除が徹底されるよう、連絡調整の場を設け、司令塔を明確にした上で、十分な調整が行われているか？

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
必要投入の	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検・改善結果	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		

担当部局の自己評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選びます。

- ：十分できている
- △：一部できている
- ×：できていない
- ：該当しない

この2つの項目については、該当するものがあれば「有」、なければ「無」を記載します。

他府省のレビューシートを見れば、本当に類似の事業がないかどうかは明らかとなります。

# 行政事業レビューシートの見方について

行政事業レビュー推進チームの最終的な評価にあたっては、以下の5つの選択肢から、1つを選びます：

- **廃止**：「事業目的に重大な問題がある」、「地方自治体や民間等に委ねるべき」、「効果が見込めない事業内容や実施方法となっている」などの状況にあり、事業の存続自体に問題があると考えられる場合 等
- **事業全体の抜本的な改善**：事業の存続自体を問題とするまでに至らないが、事業全体として「資金が効率的に使われていない」、「効果が薄い」など、十分に効果的・効率的な事業となっておらず、事業内容を大幅かつ抜本的に見直すべきと考えられる場合 等
- **事業内容の一部改善**：より効果的・効率的な事業とするため、事業の中の一部のメニューの改廃、事業実施方法や執行方法の一部の改善等によって、事業内容の一部を見直すべきと考えられる場合 等
- **終了予定**：平成29年度終了事業や平成30年度終了予定事業等、レビューを実施する前に平成31年度予算概算要求を行わないことが決まっていた事業であって、点検の結果、予定通りに終了すべきと判断した場合 等
- **現状通り**：特段見直す点が認められない場合 等

外部有識者や行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、各府省がその事業をどうするか最終判断をします。判断にあたっては、以下の6つの選択肢から1つを選びます：

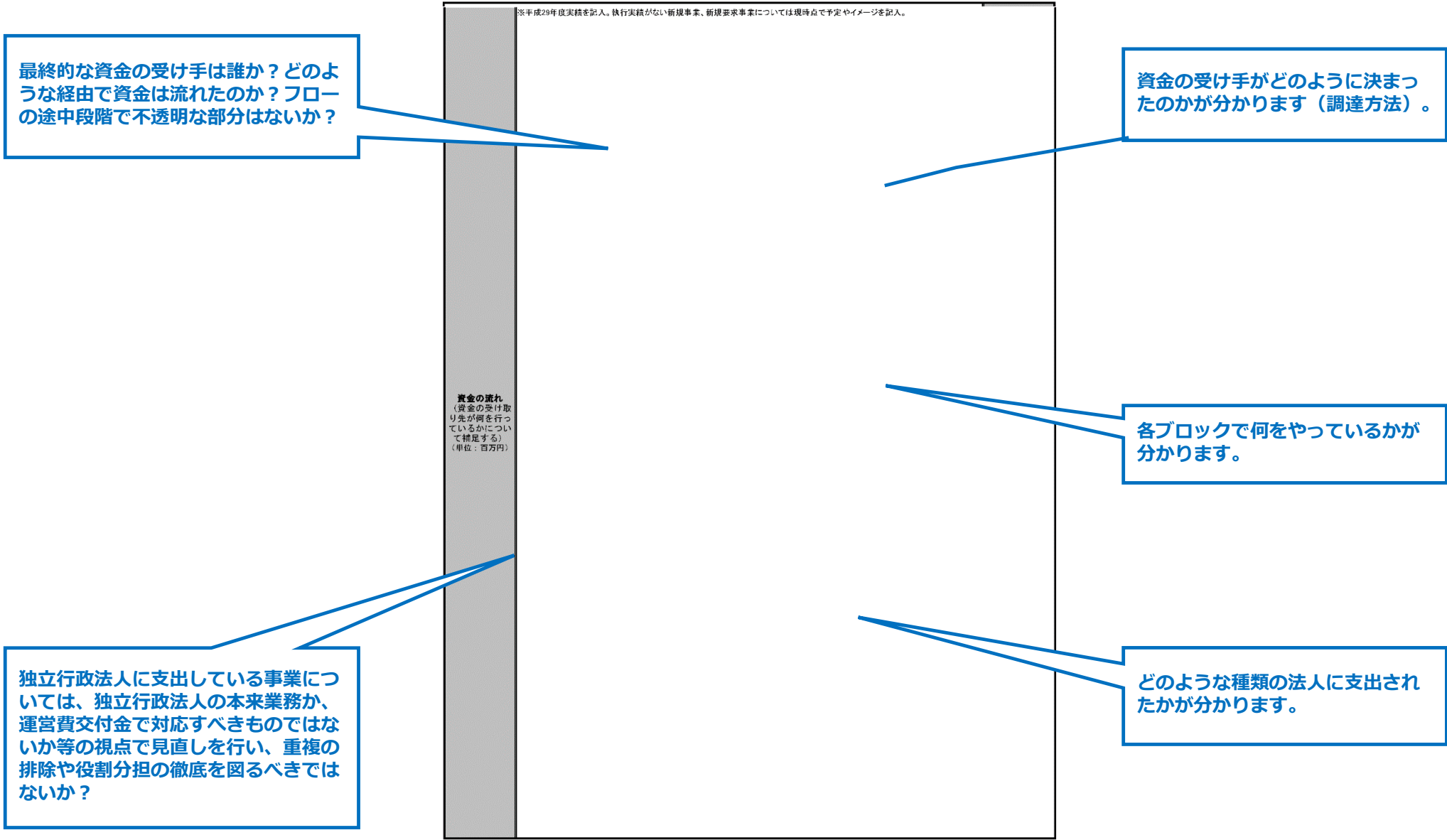
- **廃止**：平成31年度予算概算要求において要求しないもの（前年度終了事業等は含まない）
- **縮減**：何らかの見直しが行われ、平成31年度予算概算要求の金額に反映するもの
- **執行等改善**：平成31年度予算概算要求の金額には反映しないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善をするもの
- **今後改善を検討**：平成31年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、平成30年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」を除く）
- **予定通り終了**：平成29年度終了事業等で、予定通り事業を終了し、平成31年度予算概算要求において要求しないもの
- **現状通り**：平成31年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの

- 外部有識者の点検対象事業については、外部有識者による事業の改善すべき点の指摘や、検討すべき課題に係る提案等が記載されます。
- 公開プロセス対象事業については、評価結果や外部有識者のコメントなどが記載されます。
- 外部有識者のコメントが事業の問題点を含まない場合、点検を行った外部有識者の氏名が明記されます。

外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
平成26年度	平成27年度	平成28年度	
平成29年度			

所管部局による点検や外部有識者の所見を踏まえ、行政事業レビュー推進チームが、事業の執行において見直すべき点や概算要求に反映すべき内容などの指摘を記載します。

# 行政事業レビューシートの見方について



# 行政事業レビューシートの見方について

費目・用途 「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

- 施設整備、設備配備、立地条件（借料等）、人員配置等が業務内容等に照らして過大になっているのではないか。
- 費用削減のための検討、試算がされていないのではないか。
- 代替的選択肢の費用予測をきちんと実施すべきではないか？
- 事業目的に照らし合わせて、ムダ・不適切と思われる使い方はないか？  
いわゆる「中抜き」構造はないか？

種類別ブロックで支出先が複数の場合、支出額の最も大きい1者における用途を、代表例として記載します。

支出先上位10者リスト

A.	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

法人番号により、これまで同一の支出先でも各府省・部局で書きぶりが異なったものを、同一の支出先として扱うことが可能となります。

種類別ブロック毎に、支出額の大きい上位10者をリストアップしています。

ブロック間で同じ団体・企業がないか？グループ会社ばかりが名を連ねていないか？

一般競争入札であっても、仕様等の条件、入札参加資格、入札審査項目、公告期間等で参加者が実質的に限定されていないか？

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

複数の契約が特定企業に集中していないか？

随意契約の理由は、真に随意契約によらなければならない合理性あるものであるか？

仕様等の条件が厳しすぎるために、結果的に一者応札となっていないか？